

(参考様式)

令和6年度 第1回 介護・医療運営推進会議 議事録

令和 6年 9月 25日

事業所名	あおかい定期巡回ケア青森中央			
担当者	J	電話番号	017-718-3453	
1. 開催日時	令和 6年 9月 25日 (水) 10時 00分 ~ 11時 00分			
2. 開催場所	有限会社 青森介護サービス JMGビル3階研修室	今年度開催回数 (1回目)		
3. 出席者	出欠	氏名	構成員の属性	
	○	A 様	(古川仲町町会)	
	○	B 様	(青森市福祉部介護保険課)	
	○	C 様	(青森市中央地域包括支援センター)	
	○	D 様	(利用者様ご家族)	
	○	E 様	(沖館薬局 長島店 薬剤師)	
	事業所側	F	(青森介護サービス ケアプランセンター)	
		G	(あおかい訪問看護ステーション青森東)	
		H	(管理者)	
	I	(計画作成責任者)		
	J	(計画作成責任者)		
4. 活動状況の報告	1. 利用者数増減 2. サービスのお問合せ状況、お問い合わせの傾向、事例紹介			
5. 活動状況の評価	(青森市福祉部介護保険課 B 様) ・医療と介護が連携して取り組むことが大事だと思う。引き続き対応を継続してください。 ・定期巡回サービスは、月額の利用料が高く、訪問介護で十分な方が青森市だと多い。そうなると、需要が少なく、利用者とのマッチングが難しいかと思うが、周知活動もされているようなので、引き続き対応してください。			
6. 主な議題	1. 活動状況報告 2. 自己評価・外部評価について 3. 皆様からの要望や助言について			
7. 要望、助言等	(古川仲町町会 A 様) ・これから介護を受ける立場として考えると、介護認定を受けるにはどうしたらいいのか聞きたい。 (青森介護サービス ケアプランセンター F) ・介護保険申請の際は、中央地域包括支援センターの方でも、弊社でも申請のお手伝いや、相談対応をいたします。いつでもご相談ください。			

(参考様式)

	<p>(沖館薬局 長島店 薬剤師 E 様)</p> <ul style="list-style-type: none">・ヘルパーで確実に服薬が出来たことは良かったと思う。・もともと本人とは顔見知りだったが、数年前から認知症状が出ている節があった。薬局に、様子がおかしいと思う方がいらっしゃる事があり、地域包括支援センター等に相談した方がいいのか、本人の同意なく相談してもよいものか、迷う場面がある。そういう場合の対応の仕方を助言いただきたい。 <p>(青森市中央地域包括支援センター C 様)</p> <ul style="list-style-type: none">・本人自体が介入を嫌がる方もいらっしゃるが、相談いただければ、「近所の見回りで、訪問しました」と見回ることは出来る。・定期巡回サービス自体の特性をあまり理解できていなかった。今後、中央包括支援センターの包括ケア会議等でも周知して欲しい。 <p>(利用者様ご家族 D 様)</p> <ul style="list-style-type: none">・定期巡回サービスは、年金暮らしの高齢者だと「金額が高い」と思うかもしれないが、利用した立場とすると、助けられた部分が大きかった。・介護保険で対応できない部分（ガス等）について、認知症のある本人が、日曜日でも夜間でも勝手に電話してしまい、対応された職員が認知症を理解できず「非常識な人だ」と対応を拒否されてしまうことがあった。そういった一般の人に向けても、認知症のことを周知してほしい。
8. 意見等への対応等	<ul style="list-style-type: none">・今後も啓蒙活動を重ね、サービス内容を知らないケアマネジャー様に対して説明会などを開催したい。・地域との交流をもっと増やすために、回覧板の閲覧などもさせて頂くこととなったので、情報の発信等出来るようにしたい。
9. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none">・一般の方も対象にした公開研修・説明会なども計画していきたい。・BCP（介護施設・事業所における業務継続計画）について 2023年10月に策定完了。 2024年9月18日に自社他部門と合同で訓練実施（災害） 訓練で判明した不足部分等を抽出し、定期的に確認・修正することとした。 今後は、感染症についての訓練も実施する予定